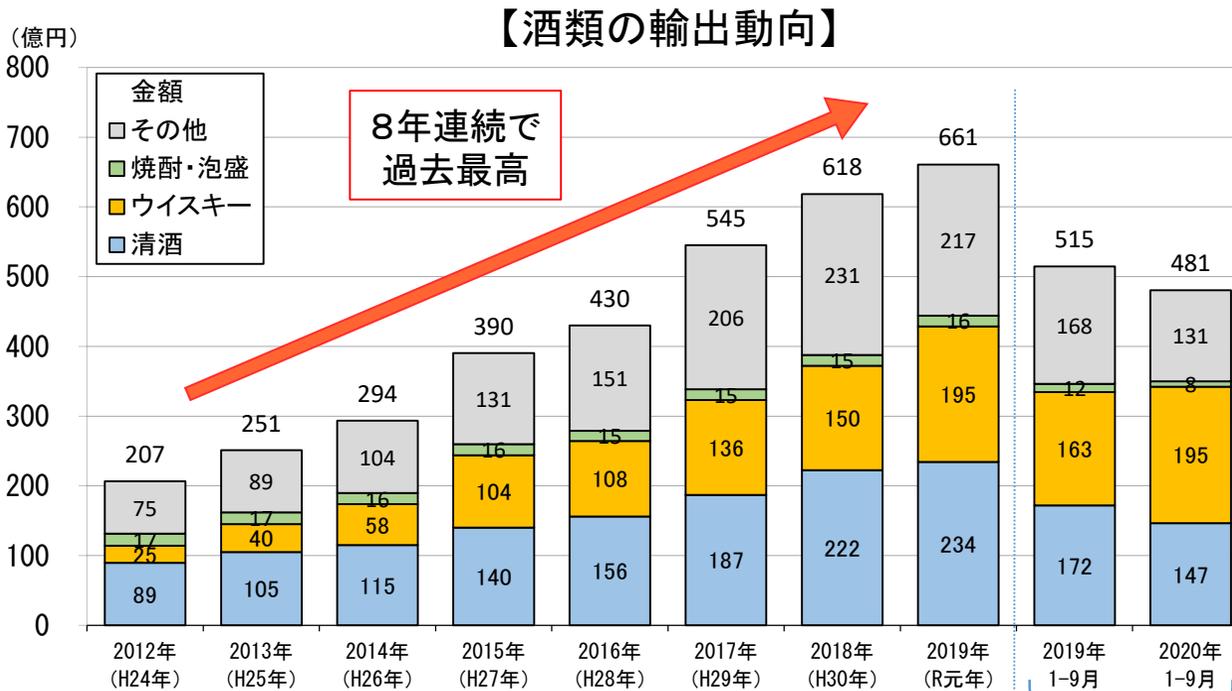


- 酒類の輸出拡大に向けた現状と方向性
- 輸出促進のための予算措置

令和2年11月20日  
財 務 省

# 酒類の輸出拡大に向けた現状と方向性

- 酒類の2019年の輸出金額は、約661億円で、**8年連続で過去最高**。2020年1～9月の輸出金額は、対前年同期比6.6%減であるが、**8月、9月はプラス**に転じている。
- 農林水産物・食品全体の輸出額を、2025年までに2兆円、2030年までに5兆円とする目標の達成に向けて、酒類においては、**清酒、ウイスキー及び本格焼酎・泡盛**の3品目を重点品目とし、販路拡大及び認知度向上のための施策等を積極的に実施。



## ○2020年の輸出金額の推移

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
輸出金額(億円)	50.1	56.0	55.6	52.5	38.6	55.3	57.8	53.0	61.9
前年同月比(%)	+0.8	▲7.3	▲19.2	▲19.2	▲27.1	▲16.3	▲1.2	+17.2	+28.4

## ○品目別輸出金額

(単位:億円)

品目	2019年	対前年増減率	2020年 (1-9月)	対前年同期増減率
清酒	234.1	+ 5.3%	146.7	▲14.7%
ウイスキー	194.5	+ 29.9%	195.5	+20.3%
焼酎・泡盛	15.6	+ 2.0%	7.6	▲35.7%
その他	216.6	▲6.2%	130.8	▲22.3%
合計	660.8	+ 6.9%	480.6	▲6.6%

## ○輸出金額上位5か国・地域

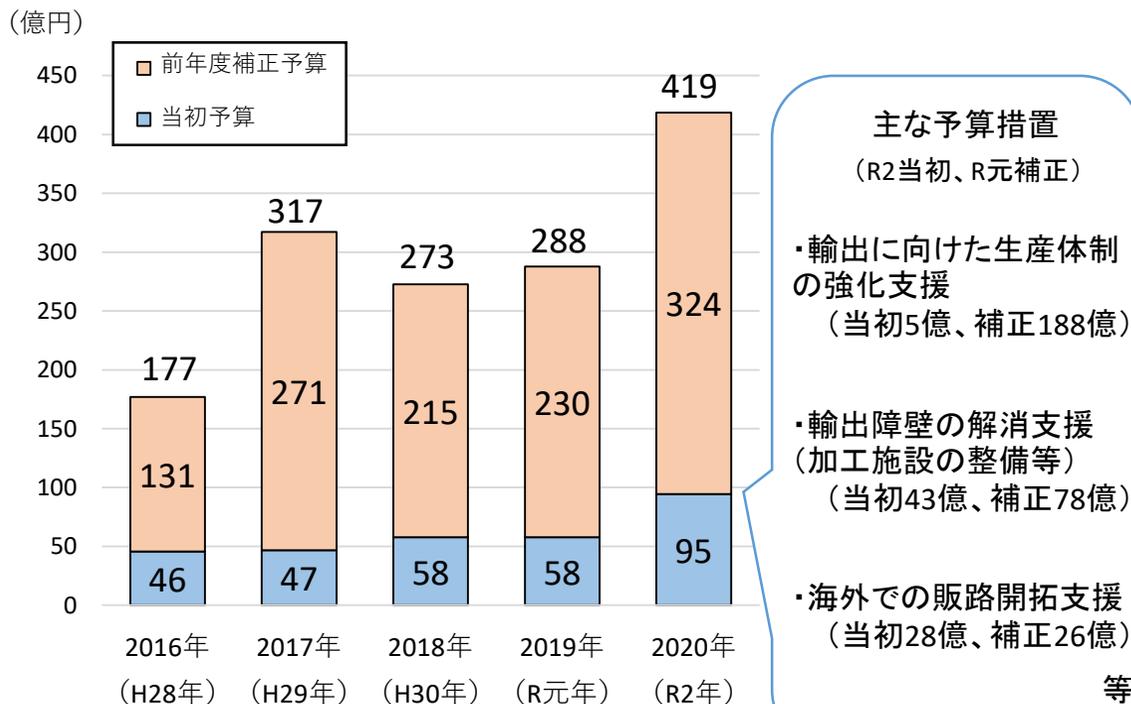
(単位:億円)

国・地域	2019年	対前年増減率	2020年 (1-9月)	対前年同期増減率
アメリカ合衆国	156.6	+ 19.5%	107.6	▲14.6%
中華人民共和国	101.2	+ 54.7%	102.4	+48.3%
香港	62.5	+ 7.4%	64.1	+38.6%
台湾	62.0	+ 4.9%	45.4	+0.7%
大韓民国	61.5	▲44.4%	14.2	▲76.5%
(参考)EU	91.6	+ 20.5%	57.7	▲26.2%

# 輸出促進のための予算措置

- 直近5年間の関連予算の総額は約1,500億円。輸出に向けた生産体制の強化、輸出障壁の解消に向けた取組や、海外での販路開拓を支援。
- 輸出支援策を効果的に輸出拡大に繋げていくためにも、マーケットのニーズを踏まえた輸出有望品目を特定し、生産体制強化、輸出障壁の解消、販路開拓を一体的に支援していく必要。
- また、各施策について、輸出に向けた具体的な成果目標を設定し、不断の検証・見直しを行うことが重要。

【関連予算の推移】



【予算執行調査(R2)における指摘事項】

- ・ 輸出障壁の解消の一環として、HACCP認定取得のための水産加工施設改修等に対する支援(国費1/2)を実施。(H26~30年度の予算額:計83億円)
- ・ 支援を受けた事業者の輸出目標の達成状況を確認したところ、目標達成した事業者は10%に留まる。(目標国への輸出実績がない事業者が約半数。)
- ・ 支援を受けた事業者に対する点検や改善指導などの執行体制に課題。

輸出目標額の達成状況

目標達成	10%
25~99%	14%
25%未満	29%
実績なし	47%

(※) HACCP(ハサップ: Hazard Analysis and Critical Control Point)とは、原材料の受入れから最終製品までの各工程ごとに、微生物による汚染、金属の混入などの危害要因を分析した上で、危害の防止につながる特に重要な工程を継続的に監視・記録するもの。EUや米国に対する水産物や牛肉等の輸出に際して認定が求められる。